「この道一筋」に栄誉

受章者の横顔

瑞宝双光章

森山 利夫氏

国土交通行政事務功労により、2023年秋の叙勲で瑞宝双光章の栄誉に輝いた森山利夫氏（73）。

森山氏は1974年3月に宮崎大学工学部土木工学科を卒業。同年4月に建設省へ入省し、2007年3月に退官した。この間、三次河川国道事務所長や地方事業評価管理官などを歴任。退官後は中国建設弘済会やシーエムエンジニアリングで勤務した。その後、シーケィ・テックに入り、15年6月から代表取締役に就任し、現在は取締役顧問を務めている。また、日本技術士会中国本部では初代建設部会長（15年6月～20年6月）も任された。

今回の受章に際しては「この上なく光栄なこと。妻と喜びを共有できたことが一番の幸せ」とその喜びをかみしめつつ、「お世話になった国土交通省や、お力添えをいただいた方々、そして中国地方のインフラ整備に少しでも恩返しや貢献ができればと思っている」と決意を新たにする。また、後進に対しては「土木技術者としての誇りを持って、地域づくりに取り組んでほしい」とアドバイス。「インフラ整備の楽しさも味わってほしい」とエールをおくる。

信条・好きな言葉は『温故知新』。趣味は自然観察とゴルフ。福岡県久留米市の出身で、現住所は広島市南区青崎。